

(一般屋内用)

直管LEDランプ搭載
SmartArchi
System Base Light

品番 光天井XFY(XFYH)6600C

※上記()内は加工品番です。
(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

取り付け前の確認事項

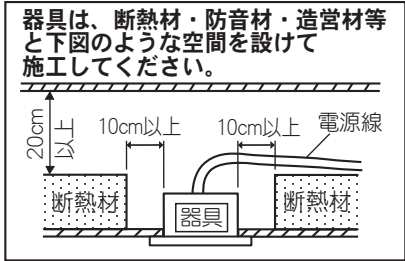
・この器具は次の取付枠と組み合わせて使用してください。

	品 番		
組合せ品番	光天井XFY (XFYH) 6600C		
灯具品番	FYY (FYYH) 26600C		
下面パネル品番	FYY80070J		
取付枠品番 (別売)	FYY80071 (単体用)	FYY80072 (2 台用)	FYY80073 (3 台用)
	FYY80074 (4 台用)	FYY80076 (6 台用)	FYY80079 (9 台用)

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造は、絶対に行わない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 取付ボルトは器具の質量（52.2kg）に十分耐えるように補強を行う。
強度が不十分な場合、落下の原因となります。
- 傾斜天井・壁面への取付はしない。落下の原因となります。
- この器具は専用の取付枠と組み合わせて使用する。
指定外の枠を使用すると、落下の原因となります。
- この器具は天井埋込専用です。断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。



注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- ・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)

■調光機能について

- ・当社適合コントロールとの組合せにより、起動方式L Tの器具は光出力を約25～100%に変化させることができます。

適合コントロール	L T
セパレートセルコン、インバータ蛍光灯調光T/U；スーパーマーケットセルコン	○注1
ライトコントロール、調光信号線式(LED・インバータ蛍光灯) (Hf側で使用)	○注2
ライトマネージャS+連続調光インバータ照明器具用プースタ(Hf側で使用) ライトマネージャL+調光ボックス(Hf側で使用)	△注3

- ・適合コントロールは、当社製品をご使用ください。
適合コントロールの注意事項については、適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。

※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。

ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。

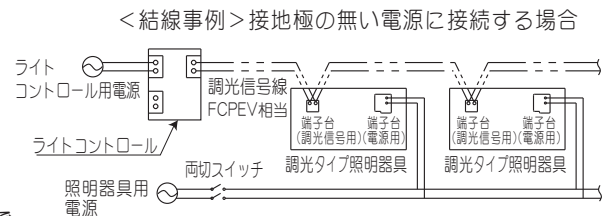
注1) 調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

注2) ライトコントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。

注3) 調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

■結線について

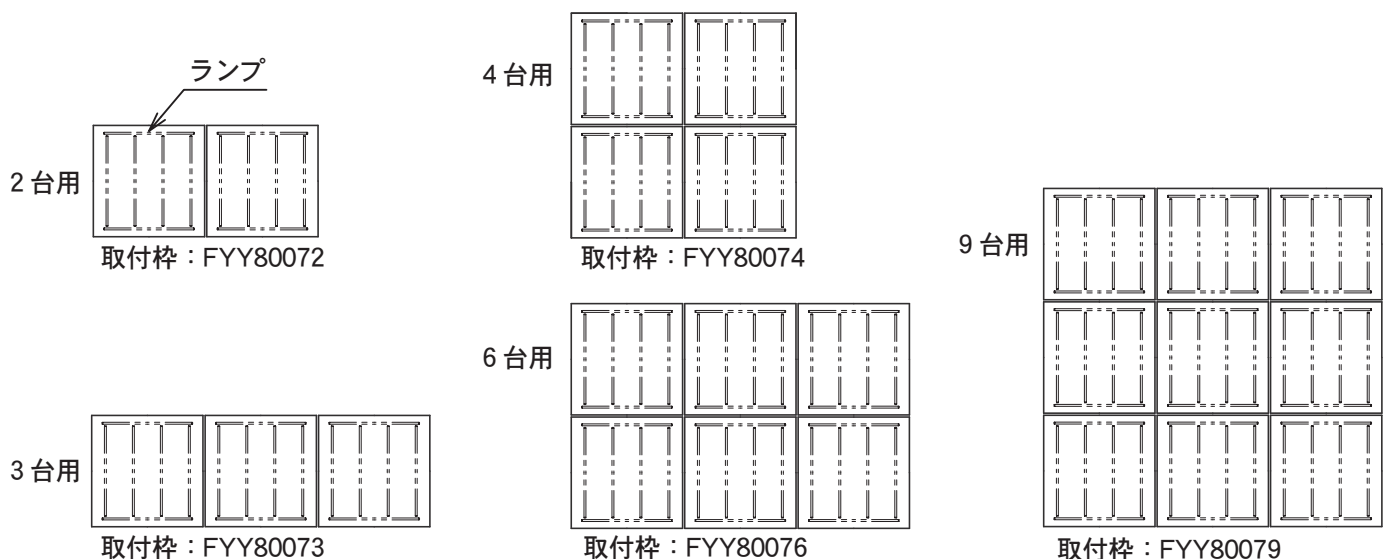
- ・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
- ・接地極のない電源に接続する場合は、右図の結線をおすすめします。
- ・接地極のない電源にライトコントロールのスイッチを介して接続した場合は、スイッチで消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。
- ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
- ・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- ・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。



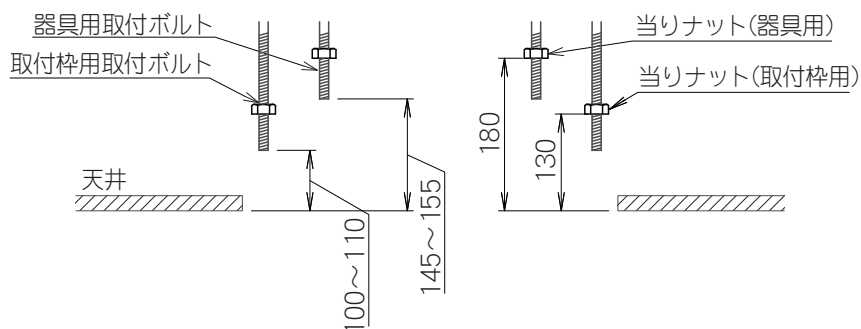
連結取付の場合

- 連結取付の場合、ランプの向きに注意してください。

推奨取付方向



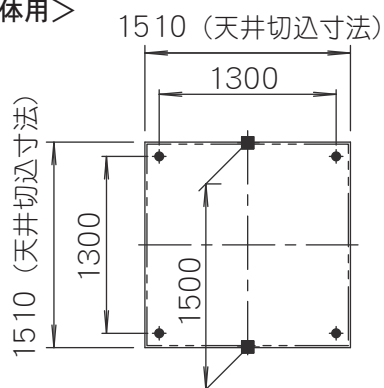
天井切込穴寸法とボルト位置



- 器具用取付ボルトと取付枠用取付ボルトは長さが異なりますのでご注意ください。
- 器具用取付ボルトは、天井表面より145～155mm程度にしてください。
- 取付枠用取付ボルトは、天井表面より100～110mm程度にしてください。

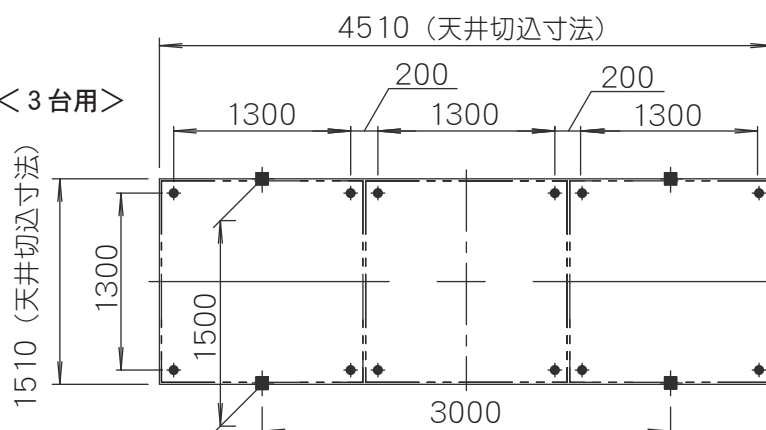
- 印：器具用取付ボルト
- 印：取付枠用取付ボルト

<単体用>



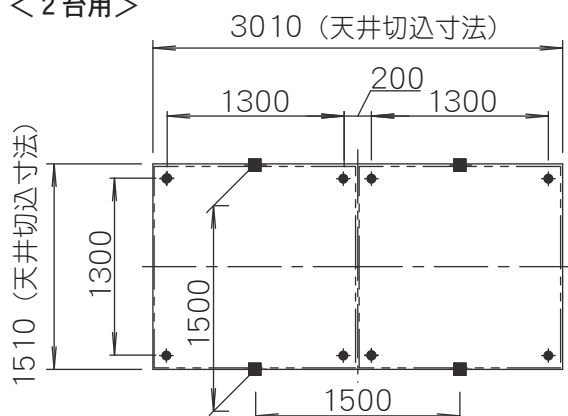
天井切込寸法	1510 × 1510
器具用取付ボルト	4本
取付枠用取付ボルト	2本

<3台用>



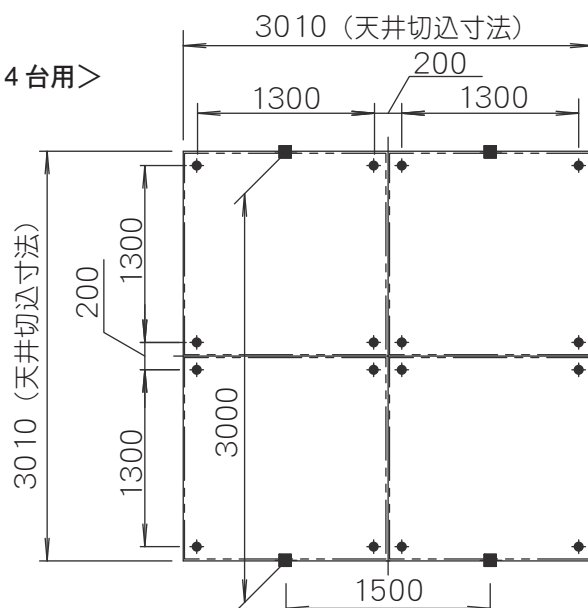
天井切込寸法	1510 × 4510
器具用取付ボルト	12本
取付枠用取付ボルト	4本

<2台用>



天井切込寸法	1510 × 3010
器具用取付ボルト	8本
取付枠用取付ボルト	4本

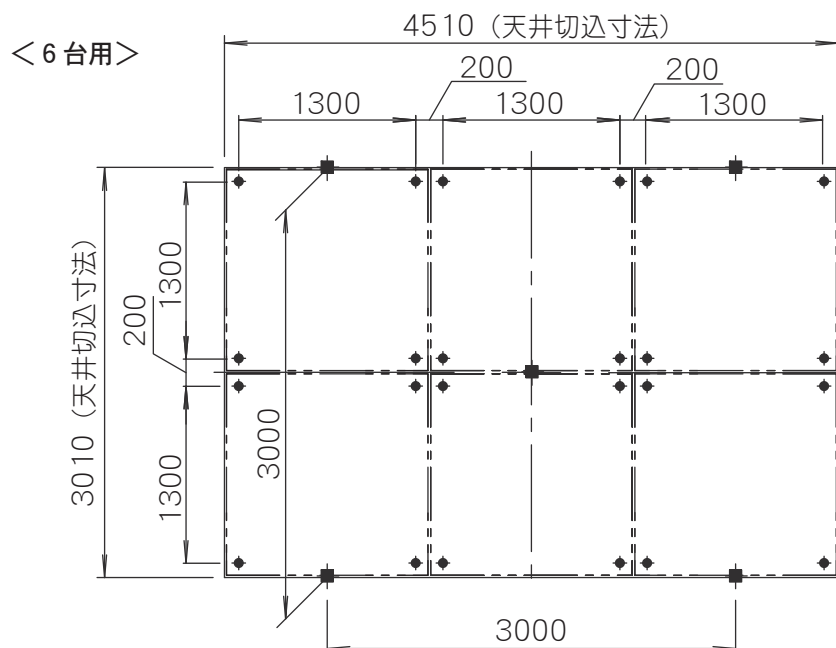
<4台用>



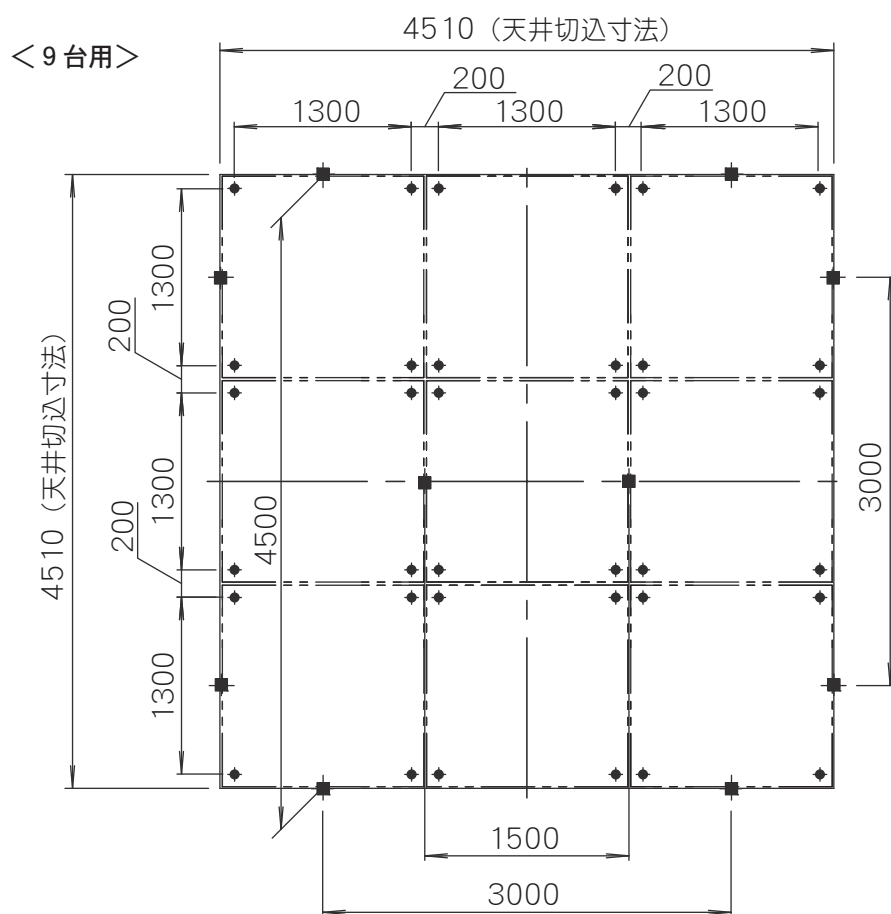
天井切込寸法	3010 × 3010
器具用取付ボルト	16本
取付枠用取付ボルト	4本

天井切込穴寸法とボルト位置

- 印：器具用取付ボルト
■印：取付枠用取付ボルト



天井切込寸法	3010 × 4510
器具用取付ボルト	24本
取付枠用取付ボルト	5本

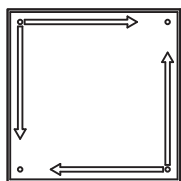


天井切込寸法	4510 × 4510
器具用取付ボルト	36本
取付枠用取付ボルト	10本

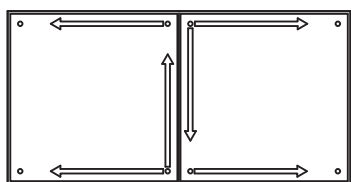
取付ボルト補強例

●取付ボルトは器具質量(52.2kg)に十分耐えるように補強を行ってください。

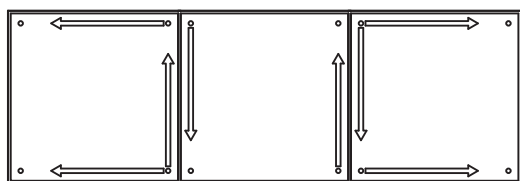
●⇒ は補強の位置および方向を示します。



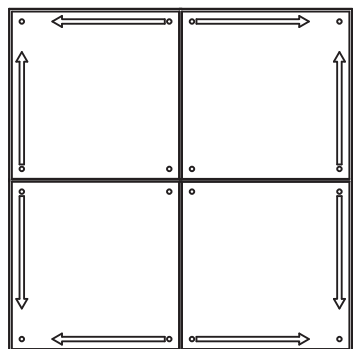
<単体用：FY80071 使用時>



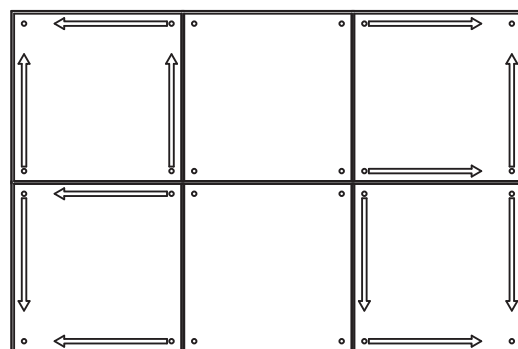
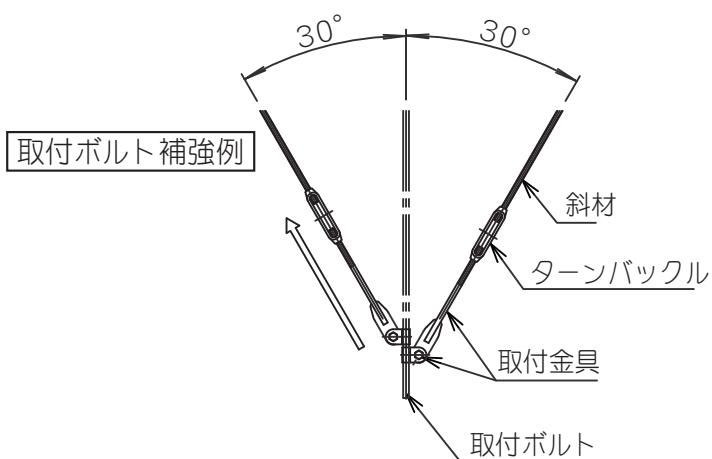
<2 台用：FY80072 使用時>



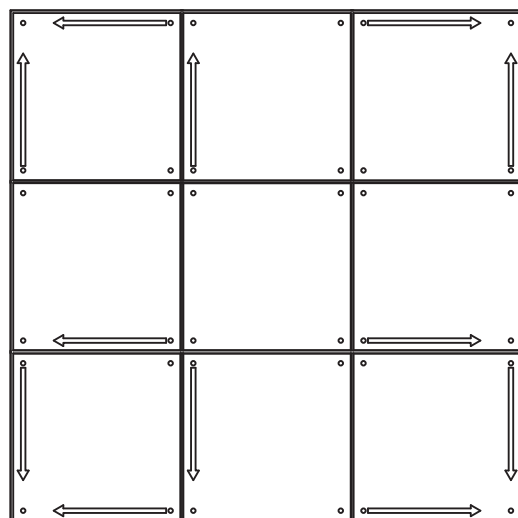
<3 台用：FY80073 使用時>



<4 台用：FY80074 使用時>



<6 台用：FY80076 使用時>



<9 台用：FY80079 使用時>

各部のなまえと取付方法

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

- ・器具の取り付け取り外し時は、けがのおそれがありますので手袋などの保護具を使用してください。

1. 取り付け前の確認

- ・天井切込穴および取付ボルトを準備しておく。
☞ 3・4 ページ「天井切込穴寸法とボルト位置」参照。
取付ボルトはW3/8 又はM10を使用する。
不備があると器具落下の原因となります。
- ・器具の方向性を確認しておく。

2. 本体の取り付け

- ・事前に別売の取付枠を取り付けておく。
＜取付枠の取扱説明書を参照＞
- ・本体の反射板（5枚）を外す。（その他の部品は外さない）
- ・本体を持ち上げる。（3人作業を推奨します。）
- ・本体を取付ボルトに確実に取り付ける。
不備があると器具落下の原因となります。
（推奨トルク値 1.5 N・m）
- ・器具が水平に取り付いているかを水準器等を用いて確認する。

連結仕様の場合

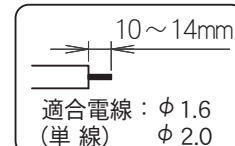
※連結の場合は先に取り付けた器具に連結金具を取り付けてください

連結金具（取付枠に同梱）

先に取り付けた器具 次に取り付ける器具

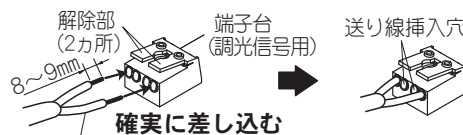
3. 電源線の接続

- ・電源線を端子台（電源用）に確実に差し込む。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・端子台の容量は20Aです。
接続が不完全な場合や、容量オーバーの場合、火災の原因となります。



4. 調光信号線の接続

- ・調光信号線を端子台（調光信号用）に確実に差し込む。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。
- ・弊社適合コントロールをご使用ください。
注）制御可能台数はコントロールの取扱説明書をご確認ください。



適合信号線：FCPEV相当φ0.9、φ1.2×1ペア

調光信号線の外し方

解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

5. 反射板の取り付け

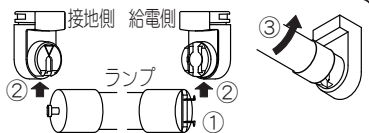
- ・反射板は、① ② ③の順に取り付ける。
- ・反射板取付ネジは＋ドライバーで確実に締め付ける。
取り付けが不完全な場合、反射板落下の原因となります。

各部のなまえと取付方法

6. ランプ（別売）を確実に取り付ける

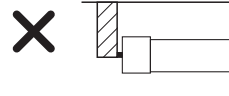
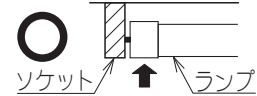
- ・適合ランプは、8 ページ「定格」をご参照ください。

- ① ランプの向きを合わせる
- ② ランプを奥まで挿入する
- ③ 90° 回転させる

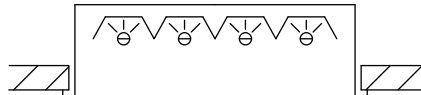


奥まで挿入されている

奥まで挿入されていない

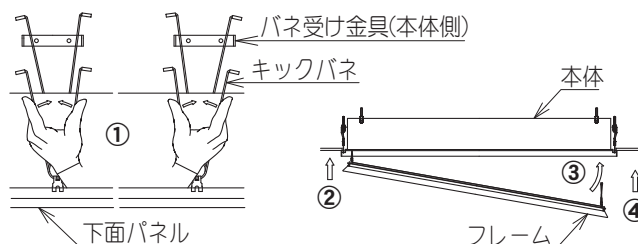


下面パネルを均一に発光させるため、ランプ発光面が器具反射板側になるよう、確実にランプを90° 回転させ取り付ける。



7. 下面パネルの取り付け

- ・下面パネルについているキックバネをバネ受け金具に引っ掛ける。
 - ・下面パネルのもう一方についているキックバネをバネ受け金具に引っ掛ける。
 - ・下面パネルのフレーム部をつかみ、本体に密着させる。
- 取り付けが不完全な場合、下面パネル落下の原因となります。**



取り付けが不完全な場合、ランプ落下、均斉度悪化の原因となります。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※ 使用条件は周囲温度 30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号: CLX2021HA)点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

使用上のご注意

- ・LED素子にはバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線を使用すると、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・ランプピンやソケットの導電板が酸化(腐食)し、不点灯に至る場合があります。湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では、使用しないでください。
- ・調光してご使用の場合 (LT)
 - ・光出力比 (%) と目で感じる明るさ感には相違があります。
 - ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ・コントロールと組み合わせて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。同一器具または同一品番で点灯及び消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。低い調光域では段調光のように動作する場合があります。適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。

保証について

- 保証について …… この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について …… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間 …… 弊社は、この照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について…水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
 - ・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について…本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
 - ・パナソニック製LEDランプをご使用ください。パナソニック製LEDランプの特性に合わせた器具設計をしていますので、他社製LEDランプを使用すると本来の性能が得られない場合があります。
 - ・ランプには方向性がありますので、向きを確認してランプ発光面が器具反射板側となるよう確実に90°回転させて取り付けてください。
 - ・ランプをソケットの奥まで確実に挿入して取り付けてください。

交換部品

直管LEDランプ
LDL40S

※詳細は、6ページ「各部のなまえと取付方法」をご参照ください。



警告

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり
ランプはガラス製です。取扱に注意してください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないでください。

■定格

		LT9		
	定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
LDL40S/33	入力電流	2.19A	1.08A	0.90A
	消費電力	219W	213W	213W
LDL40S/29	入力電流	1.92A	0.96A	0.81A
	消費電力	192W	186W	186W
LDL40S/25	入力電流	1.65A	0.81A	0.69A
	消費電力	165W	162W	162W
LDL40S/22	入力電流	1.50A	0.75A	0.63A
	消費電力	150W	147W	147W
LDL40S/19	入力電流	1.35A	0.66A	0.57A
	消費電力	132W	132W	132W
LDL40S/14	入力電流	1.11A	0.54A	0.45A
	消費電力	111W	108W	108W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)